

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



# 緑小だより 4月号

令和6年4月10日（水）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校  
校長 菅野 康一

## 【三つの躰（しつけ）】

緑が浜小学校の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。地域の皆様、いつも緑が浜小学校を温かくお見守りいただきまして、ありがとうございます。令和6年春、別れの季節を経て、出会いの季節がやってきました。さて、昨年度に引き続き、**菅野康一（すがの こういち）**が学校長を務めます。よろしくお願ひいたします。

.....  
新年度を迎えるにあたり、令和5年度の修了式で、“4月8日の始業式でも、4月9日の入学式でもお話をしますから、最初から意識できるようにしていきましょう！”と、私から「**3つのお願い**」です。

### ①朝、おはようございます！

#### と自分から明るくあいさつをします。

私は昨年度1年間、西門のところで、そこを通る人全員に挨拶をし続けました。知っている人にも知らない人にもです。挨拶をしていると、知らない人が知っている人になるのです。挨拶の力って、すごいと思いました。だから、自分からするのです！今できている人もできていない人も、今日から続けてみてください！

### ②自分の名前を呼ばれたら、「ハイ！」と返事をします。

当たり前なのが当たり前になるには、毎日続けることが大切です。普段やっていないことは、いざとなるとできないのです。

### ③スリッパをきちんとそろえ、席をたったらイスを入れます。

私は、1日に3回くらい教室を見回ります。その時にトイレのスリッパが揃っていない時は必ず直します。その時には少し悲しい気持ちです。新年度は、ぴしっと揃っていると嬉しいです。ちなみに、私は泳ぐのが好きなので、よくプールに行くのですが、そのトイレのスリッパが揃っていないと、必ず直してしまいます。これはもう習慣といえます。

.....  
今の3つのお話は、「つ」のつくうちに身につけておくことが大事とされています。「ひとつ、ふたつ、みっつ、....、ここのつ」つまり9歳までにということです。

またこの3つを「子どもにそうさせる」だけでなく、私たち大人が率先して行動で示すことが大切だと言われています。しつけが身につくと、子どもの「我」がとれるそうです。「我がとれる」ということは、素直な気持ちになるということであり、心の受け入れ態勢が整うということです。こういう子どもは何でも学び・吸収し、伸びていくことができます。無理に押し付ける必要はありません。たった三つのことを行動で示し、自然にできるようにさえすればよいのです。私たち緑が浜小学校の職員は、保護者の皆様、そして地域の皆様と協力し、子どもたちの健やかな成長のために、力を尽くしていく所存です。今年度もよろしくお願ひします。